

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1176	(H.24)No.	1176
-----------	------	-----------	------

事務事業名	借上型市営住宅事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	営繕住宅室	市井 清己	63-7740
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 23 年度 ~ 平成 46 年度	公営住宅法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	3	住宅・住環境
	小施策	1	住宅整備
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	421601
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	借上型市営住宅事業
項	住宅費	(小事業名)
目	住宅維持費	借上型市営住宅事業

## 3. 事務事業の概要

事業概要
<p>老朽化した市営住宅の整備方針により、耐用年数を超過した老朽6団地(栄町、朝日町、平尾、丈六、柏原、新田)の用途廃止(解体除却)に伴う代替住宅の整備を既存民間賃貸住宅の借上げ方式により行う。</p>

めざす効果(事業目的)
<p>住宅整備に伴うイニシャルコスト及びランニングコストの財政負担の軽減を目指す。</p> <p>当市において供給過多と言われる既存民間賃貸住宅の利用促進を目指す。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	住宅借上げ料 4,070千円 (市営住宅ハイツエイブリッジ) @42,000×8戸×12ヶ月 (駐車場)	住宅借上げ料 10,386千円 (市営住宅ハイツエイブリッジ) @42,000×8戸×12ヶ月 (駐車場) @1,500×3件×12ヶ月 (市営住宅アドラブル) @42,500×12戸×12ヶ月 (駐車場) @1,500×10件×12ヶ月 借上住宅鑑定手数料 210千円	朝日町・赤目・美旗 の住宅借上げ料	朝日町・赤目・美旗 の住宅借上げ料	朝日町・赤目・美旗 の住宅借上げ料
	(赤目地区) 選定委員報酬 56千円 @7,000×4名×2回 選定委員旅費 8千円	選定委員報酬 84千円 @7,000×4名×3回 選定委員旅費 16千円			
<b>直接事業費</b>	<b>4,134千円</b>	<b>10,696千円</b>	<b>15,966千円</b>	<b>15,966千円</b>	<b>15,966千円</b>
財源内訳(千円)					
国庫支出金	1,251	2,889	4,327	4,327	4,327
県支出金					
地方債					
その他(使用料)	378	960	1,196	1,196	1,196
一般財源	2,505	6,847	10,443	10,443	10,443
人工数					
職員	0.56人	0.49人	0.49人	0.49人	0.49人
臨時職員等					
<b>概算人件費</b>	<b>4,088千円</b>	<b>3,577千円</b>	<b>3,577千円</b>	<b>3,577千円</b>	<b>3,577千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>8,222千円</b>	<b>14,273千円</b>	<b>19,543千円</b>	<b>19,543千円</b>	<b>19,543千円</b>

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	既存民間賃貸住宅の借上げ方式による住宅 整備戸数	-	-	-	8	12
	実績		-	-	-	8	
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
老朽化した市営住宅の整備方針によりハイツエイブリッジ(朝日町)を借上げ方式により整備した。	本年度は赤目町檀にあるアドラプールの借り上げの契約を行い、引き続き来年の借り上げに向けて業務を行う。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
財政負担の軽減、民間住宅の利用促進等メリットが多い。	全国各地からの行政視察。

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢) の場合 (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

住宅整備に際しコスト面で有効な手法であり、今後の整備に向けて更に検証が必要。

#### 特記事項